



わかりやすい言葉で伝えること

まもなくお迎えがくることを知りながら、誠実に関われる援助を行うためには、哲学的な知識も必要になります。その哲学を、なるべく子供にもわかる言葉で伝えることができないか…と考え、次のコラムを紹介します。

私は対人援助の根幹に哲学があると考えています。問題は、表現にあると考えます。哲学の考え方として、認識に疑いを持つたとえがあります。このコップはコップに見えるけれど、本当にコップであろうか？もし、このような話を子供に伝えるとすれば、次のようなたとえを用いるでしょう。

ここにお茶碗があるけれども、本当にお茶碗だろうか？もし、ここにゲゲゲの鬼太郎の親父がいれば、お風呂に見えないだろうか？

人によって、同じものをみても、見え方が変わります。一般的ですが、タクシーに乗っていて、渋滞に巻き込まれるとイライラします。街の中を歩いていて、ガムを踏んづけると怒ります。しかし、同じ出来事を、異なる認識を持つ人がいます。

少し古いネタですが、1991年のヒット曲、SMAPのシェイクの登場する男性は歌の中で2つの困難に遭遇します。それが、上記の2つです。ところが、彼はこう言います。

今日はイライラしない、今日は怒らない…と。なぜ、彼はタクシーに乗っていて渋滞に巻き込まれても、街の中でガムを踏んづけてもイライラしない、怒らないのでしょうか？答えは簡単です。恋人の君に会えるから…です。恋人の君に会えるという”支え”があると、同じ出来事でも違って見えてきます。

では、死はどのように見えるでしょう？一般的には、怖い、嫌だ、不安、苦しい…と見える人がほとんどでしょう。しかし、同じ死でも、幸せだ、穏やかだ、落ち着いている…と見える人がいます。なぜ、このように見えるのかと言えば、”支え”があるからです。人はただ単に苦しむではありません。健康なときには気づかなかつた大切な自らの支えを、病気やケガや困難や悲しみから気づいて行きます。ただそばに家族がいるだけで安心できる、何気ない友人の一言が暖かい何気なく見過ごしていた庭の花に心打たれる、何気なく聴き逃していた音楽に涙を流す、これは決して気が弱くなったのではなく、大切な支えに気づくからです。すると、たとえ何もできない、役に立たない、もう自分には生きていても意味がないと感じていた人が、こんな自分でも生きていて良かった…と思える可能性が見えてきます。

いのちの授業として、学校で紹介することも、医療関係者を相手に話をするときも宗教関係者の前で話をするときも、使うスライドはほとんど同じです。どれほど医学や科学が発達しても、すべての苦しみをゼロにすることはできません。

しかし、たとえこれ以上つらいことはない、悲しいことはない

という状況であったとしても人はその苦しみから学び、穏やかさを取り戻す可能性が残ります。そして、学ぶのは当事者だけではありません。関わる私たちも学ぶのです。こんな魅力的な仕事は他にはないと、私は感じています。

さて地域包括ケアの最大の課題は”地域で最後まで過ごせる＝地域で看取りが実践できる”ことですね。つまり、人の死に医療を専門としない介護職や家族・友人も関わると言うことです。

日に日に弱っていく苦しみ、家族に下の世話になるのであれば早く死にたいと訴える人に励ましてではなく、誠実に関わる援助の可能性を、子供にもわかる言葉で伝えなければ最後は救急搬送という選択肢しか選べなくなるでしょう。

あと425週で2025年です。時間は限られています。これからの時代、苦しむ人が増えていきます。エンドオブライフ・ケアは、痛みを和らげることや、療養場所を選べることだけではありません。1人の人間としての尊厳が奪われる苦しみを抱えた人に対して、尊厳を保ち、維持していく、さらには世代を超えて継承されていくことを意識した関わりが求められるでしょう。

だからこそ、わかりやすい言葉で、このテーマをそれぞれの地域で支援にあたる人に伝えて行きたいと思います。

小澤竹俊

在宅での看取り数が30人を越えました

開業して10年目を迎え、はじめて1月の在宅看取り数が30を越えるようになりました。2016年5月の看取り実績が合計43名（自宅と介護施設をあわせて37名、病院で6名）でした。緩和ケアを提供できる複数の医師が、交代で当直体制を取るからこそ、持続可能性をもった看取り対応が可能となります。これからさらに介護施設を含めて、地域での看取り対応が求められます。これから在宅緩和ケアを学びたい医療者のためにも、学べる環境を整備していきたいと考えます。

診療実績

	2006-2015年	2016年 1月~2月	2016年 3月	2016年 4月	2016年 5月	2016年 計	総計
訪問回数	41,338	1,542	781	898	971	4,192	45,530
自宅永眠	1,528	46	15	23	34	118	1,646
施設永眠	158	7	4	5	3	19	177
在宅 (自宅+施設)	1,686	53	19	28	37	137	1,823
病院永眠	397	14	7	3	6	30	427